

<概要> 次ページの参考資料を参照下さい。

- 1) インターネットの世界と最新状況
- 2) 山岳写真団体の最新状況
- 3) JAPA の現状と立ち位置 (JAPA web サイトの 3 本柱と夫々の役割)
- 4) JAPA 今後の方向と目標

●JAPA Web サイトの目標は山岳写真愛好家や登山者 関連するサイトは「山岳写真団体」写真展や一公募を通じて入会者を増やすこと、山岳写真サイトで訪問者数の上位を目指します。

1) インターネットの世界と最新状況

インターネットは世界中のコンピューターを繋ぐ通信網。この技術を使ったのがWeb サイト。日本は「インターネット=Web」「Web サイト=ホームページ」が同義としているが、「Web サイト」が正しい。登場してから 40 年以上経過して技術も古く、特別なソフトや技能が必要なため存在感は低下している。特別なソフトが不要で使いやすい SNS が台頭してきた。

インターネット (Web) の世界は大きく変わってきている。

JAPA は従来のサイトを「ホームページ」、SNS 等を「新 Web」として説明している。

●従来からの Web サイトは、企業や役所関係の広報と Net 通販 (アマゾン・楽天など) が多い。山岳写真団体や山小屋、写真家の Web サイトは SNS が増加している。

2) 山岳写真団体の最新状況

共通する悩みは、アクセス数を維持するための公式な情報が少ないことである。

各団体とも公式ニュースは、会の写真展案内などが年 1 回程度で、会員向けには例会や研究会。山岳倶楽部や団体 (日本山岳会、日本スポーツクライミング協会など) は多くの山行報告や海外遠征などの情報が豊富である。

●山岳写真サイトでは「山岳写真 画像」を見たい人が多いが、作品掲載は個人の著作権があり許可されたものや会員が自主的に提供する作品に限られる。

Web 掲載効果は 1 週間程度、定期的な更新が難しい事が共通の悩みである。

3) JAPA の現状と立ち位置 (JAPA Web サイトの 3 本柱と夫々の役割)

JAPA 本館は google の「山岳写真」検索で上位を維持している。公式ニュースの他に会員の活躍情報などを定期的に更新しているのが要因と思われる。(図表参照)

4) JAPA 今後の方向と目標

現在は複数の Web サイトでの相乗効果により、閲覧者増加を狙うのが一般的になってきた。

(日本山岳会、山小屋、山と溪谷社、他) JAPA も、従来の本館と別館の他に新 Web の Facebook の 3 本体制を行っている。

最近では訪問者数・アクセス数の効果で Facebook (Fb) が重要になっている。今後の課題は、別館をリニューアルしてアーカブ館 (長期展示館) として立て直すことである。本館や Fb の短所 (永続性が短い) を別館で補いながら 3 本柱で訪問者数を増やすことを目標にしたい。

関東圏の山岳写真団体の状況 2024年4月

団体名	定期更新	主な傾向
山岳写真同人四季	月1回更新 表紙写真 会員行事 会員募集	更新はトップ画像と会員への案内 アクセス数効果は出ていない
全日本山岳写真協会	無し	定期的更新無いため、アクセス数 効果は出ていない。
山岳写真ASA	無し	更新が無く、画像が多いためアク セス数への効果はでていない
日本山岳写真協会本館	月1回更新 表紙写真 会活動の案内 会員の活躍情報	毎月更新しておりアクセス数と Google検索ランクは維持している

プロ写真家と会員の個人サイトの現状

サイト名	更新頻度	過去の状況と主な内容	現在と将来
菊池哲男の世界	1年間以上 更新無し	3年前までは山岳写真で 最多のアクセス数	Facebookが主力 アクセス数は最多
林明輝オフィシャルサ イト	2024年3回	写真塾や撮影会、販売 サイト メーカー色	不明
村田一朗「反射率 0.18」	更新無し	個人HPの最古参・パイ オニア 休止中	Twitter-Xと Facebookが主力

会員サイト	更新状況	
鎌田則雄	○	更新無、過去はアクセス数トップ、現在はFacebookが主力
川井靖元	○	2021年に1回更新、以降は更新無し
金剛寺拳	休館？	更新無し
鈴木克洋	閉館	閉館
花香勇	閉館？	
鈴木菊雄	○	3か月に1回程度更新、表紙写真とフォトギャラリー、Fb
大島隆義	○	プロ写真家営業サイト、ギャラリー、定期更新無し、Fb

関東圏の山岳写真団体の現状と将来 2024/1 重用保存版

団体名	山岳写真 google検索ランク (4月現在)	現状及び将来性
山岳写真同人四季	20位	定期更新はあるが、今後の 拡大傾向は見えない。
全日本山岳写真協会	4位	現在は方向性が一致せず迷走状態。 新担当者による見直しが進んでいる。 瞬間的に上位になっており、かなり 脅威的な存在である。
山岳写真ASA	9位	拡大の傾向は見えないが、リンク している代表写真家との相乗効果 を見直せば上位にランクしてくる。
日本山岳写真協会本館	1位	現状は上位にあるが楽観できない。 常に対応が必要である。

山岳写真団体の更新と将来性 纏め

山岳写真団体に共通する 悩み

●アクセス数を維持するような、ネタが非常に少ない

各団体共通の公式ニュース

①写真展案内や結果の掲載(年1回程度)

②会員用例会(全日本や山岳写真同人四季)・研究会案内や報告

公益社団法人山岳協会や山岳会は、山行報告や講習会

海外遠征などの情報が豊富。

予算の規模が異なる。

作品ギャラリー掲載は作者了解で掲載するという制限がある。

会員の活躍情報の掲載は、Japaのみが掲載してるが 賛否両論がある。

日本山岳写真協会 HPサイトの3本の柱

	サイト名	内容 目的	特徴
1	日本山岳写真協会 本館 https://www.japa.server.shared.com/	サイトマップ 行先案内 会の公式ページ 写真展や会員の活躍情報	新鮮な情報 掲載文字数や図表 画像が豊富 短所：永続性が短い 長くて1か月 管理は特殊技能
2	日本山岳写真協会 別館 https://www.japa.server.shared.com/bekkan/	サイトマップ 行先案内 (本館と同じ) 写真展ギャラリー 例会の報告 アーカイブ館	アーカイブ館(長期掲載 写真展ギャラリー 顧客に読ませる・ 見せる記事を掲載できる
3	日本山岳写真協会 新Web (現在はfacebook) https://www.facebook.com/JAPA.since1939/	協会写真展 支部展 会員の活躍速報 撮影地の速報 会員の撮影作品速報	新鮮さ・速報 スマホで即掲載 掲載が簡単 協力会員が多い 短所：永続性が短い 長くて1~2週間 長く留まらない 文字数に制限あり ●各サイトへのリンクを

最近のWebは1団体で複数のサイトの運営が多い。(山と溪谷社、日本山岳会など)

日本山岳写真協会 3本の柱 管理と今後の目標 2024/5

	サイト名	管理者	今後の目標
1	日本山岳写真協会 本館 https://www.japa.server.shared.com/	鈴木菊雄	Google検索で上位を維持する (すぐ後ろにライバルが見えている) 毎月1回の新鮮なネタを探して 更新をすること
2	日本山岳写真協会 別館 https://www.japa.server.shared.com/bekkan/	川瀬正博 (兼務)	サイトの見直し 定期的な更新 Google検索で10位以内を目指すこと
3	日本山岳写真協会 新Web (現在はfacebook) https://www.facebook.com/JAPA.since1939/	緑川邦雄 (兼務) 協力会員 35名	今後の最も有望なサイト (すぐ後ろにライバルが見えている) 協力会員とのネットワークの強化 更新回数を増やす